

## 展開案（3 / 3 時目）＜中学校＞

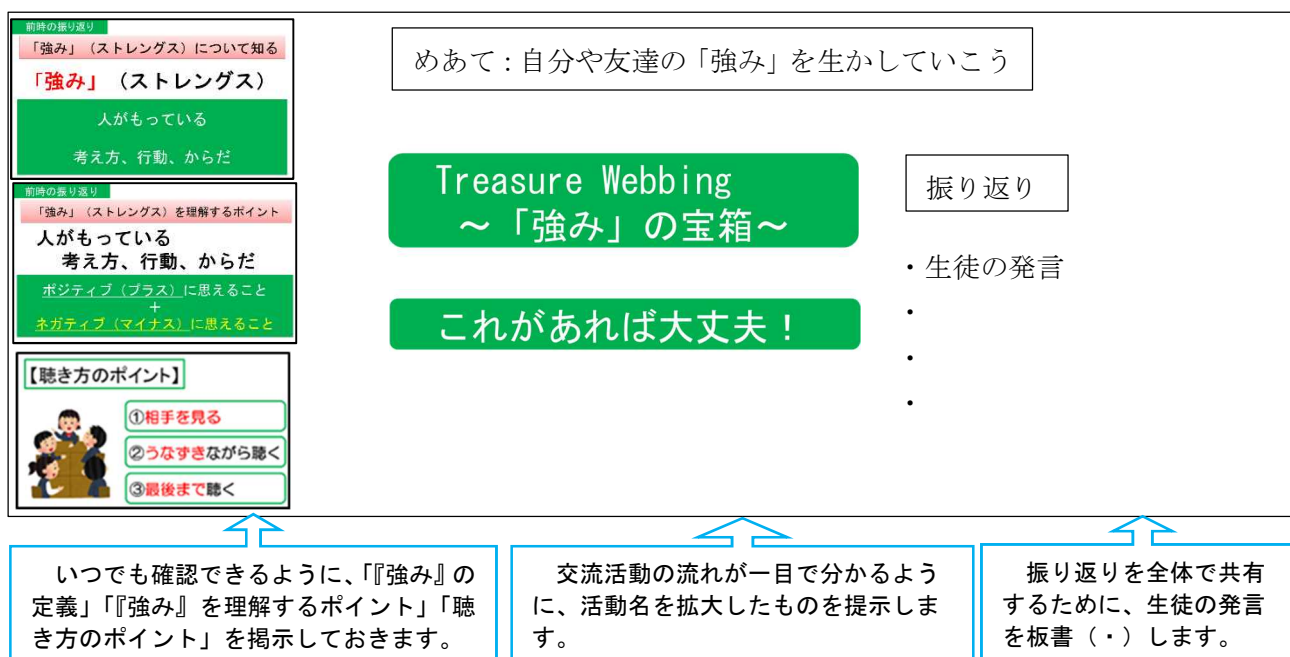
- ◆本時のねらい：「強み」に着目した交流活動を通して、「強み」を生かしていこうとする意欲を高め、自分や友達の「強み」を見付け、「強み」の生かし方を考えることができるようにする。
  - ◆本時のめあて：自分や友達の「強み」を生かしていこう。
  - ◆本時の展開（※）については、授業者がスライドに加筆したり授業者自身の言葉で思いを伝えたりしてスムーズな活動につなげたり、学習への理解を深めさせたりすることもできます）
- \* ワークシートや振り返りシート等をまとめるもの（ファイル等）を準備します。

学習活動	時間	指導上の留意点
(授業前)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 交流活動ができる座席配置にしておく。</li> <li>・ 前時までのワークシートと振り返りシートをまとめたもの（ファイル等）を返却し、自分の「強み」や学習の気づきを思い出せるようにする。</li> </ul>
1 前時の活動を振り返る。 (4分)	1~4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分の「強み」や前時までの学習を通じた気づき等を思い出す時間を設けることにより、活動への意欲を高めるようにする。</li> </ul> <p>※ これまでの活動をスムーズに3時目の活動につなげるために、【スライド2】【スライド3】には各学級の1、2時目の授業写真を、【スライド4】には生徒の振り返りシートの記述を提示する。</p>
2 本時のめあてを知る。 (1分)	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ めあてを黒板に提示して、確認したり振り返ったりすることができるようにする。</li> </ul>
3 「Treasure Webbing ～『強み』の宝箱～」の交流活動（4人*）を行う。(16分)	6	
(1) 1、2時目の活動で見付けた自分の「強み」を書き、関連した「強み」を線で結ぶ。活動①	7~10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1、2時目のワークシートにある自分の「強み」に目を通す時間を設ける。</li> <li>・ 関係のある「強み」をつなげることにより、「強み」を整理できるようにする。</li> <li>・ 授業以外で見付けた「強み」を新たに書き加えてもよいことを伝えて見通しをもたせることにより、時間いっぱい活動できるようにする。</li> </ul>
(2) 友達のワークシートに「強み」を書き加える。活動②	11~12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「強み」を書き加えるときに自分の名前を書くことにより、友達を思いやる気持ちや活動への意欲を高めることができるようにする。</li> <li>・ 生徒が活動時間の見通しをもつことができるように、提示した時間の15秒ほど前に声を掛ける。</li> <li>・ 期待感をもたせるために、3人目まで終了したら、ワークシ</li> </ul>

		<p>トを裏返しにして、教師の合図で本人に渡すようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友達に「強み」を書き加えてもらったワークシートに目を通す時間を設けることにより、自分の「強み」を実感することができるようにする。</li> </ul> <p>※ 生徒の活動の様子や教師が気付いたことなどを肯定的にフィードバックすることにより、温かい雰囲気づくりをしたり次の交流活動につなげたりする。</p>
<p>4 「これがあれば大丈夫！」の交流活動（4人*）を行う。（15分）</p> <p>(1) 今後、これがあれば大丈夫だと思える「強み」を3つ選び、選んだ理由を書く。 <b>活動①</b></p> <p>(2) 選んだ「強み」と選んだ理由を伝え合う。 <b>活動②</b></p>	<p>13</p> <p>14</p> <p>15</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「強み」を3つ選ぶことにより、「強み」の優先順位を意識させ、自己理解を深めることができるようにする。</li> <li>・選んだ理由を考えさせることにより、「強み」の生かし方を具体的に考えたり、「強み」を生かしていこうとする意欲を高めたりすることができるようにする。</li> <li>・「聴き方のポイント」を確認することにより、安心できる雰囲気の中で伝え合うことができるようにする。</li> <li>・選んだ「強み」と選んだ理由を伝え合うことにより、自分や友達の「強み」を更に生かしていこうとする意欲を高めることができるようにする。</li> </ul>
<p>5 本時の活動を振り返る。（10分）</p> <p>(1) 振り返りシートに記述する。</p> <p>(2) グループで気づきを伝え合う。</p>	<p>16</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・黒板に掲示した本時のめあてと活動を確認することにより、学習した内容を具体的に振り返ることができるようにする。</li> <li>・気付いたことや感じたことをグループで伝え合うことにより、自己理解や他者理解を深めることができるようにする。</li> <li>・生徒の発言を板書して全体で共有することができるようにする。</li> </ul> <p>※ 授業全体を通じた生徒の活動の様子や教師が気付いたこと等を肯定的にフィードバックしたり、学級や生徒の実態に応じて学習内容を具体的に意味付けたりすることにより、学習の効果を高めることができるようにする。</p>
<p>6 3時間のまとめをする。（4分）</p>	<p>17</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3時間の学習を振り返り、交流活動に熱心に参加した自分や、友達、学級全体に拍手をするなどして、互いのことを思いやる気持ちを称え、温かい雰囲気の中で授業を終わるようにする。</li> </ul> <p>※ これからも自分や友達の「強み」を見付け、互いに伝え合い、「強み」を生かしていきたいという意欲につなげるために、授業者自身の言葉で思いや願いを伝える。</p>

- ◆評価の視点：「強み」に着目した交流活動を通して、「強み」を生かしていこうとする意欲を高め、自分や友達の「強み」を見付け、「強み」の生かし方を考えることができたか。

◆板書計画



◆授業前の取り扱い

- \* 交流活動におけるグループの人数は4人編成が望ましいが、4人にならない場合は、5人グループを編成する。その場合、ワークシートを回して行う活動では、指示通りに活動を進めて、3人回したところで終了する。
- ・グループを意図的に構成し、生徒の心理的な負担を減らすように配慮する。
- ・ワークシートや振り返りシートに、教師が気付いたことや感じたことを書いて肯定的なフィードバックをする。
- ・生徒が学習を振り返ることができるようにするため、ワークシートや振り返りシート、学級通信等をファイル等にまとめて、生徒に配付する。
- ・(例) 授業前や導入において、構成的グループエンカウンターを行うことにより、親和的な雰囲気づくりが期待できる。

◆授業後の取り扱い

- ・生徒が学習を振り返ったり、自分の「強み」を生かしたりすることができるようにするため、3時間分のワークシートや振り返りシート、学級通信等をファイルにまとめて、「ストレングス・グッズ」として配付する。

◆授業後の取組例

- ・学級通信等で学習活動や生徒の感想を紹介し、家庭でも言葉掛けをしていただくようにする。
- ・教室に「強み」コーナーを設けて、見付けた友達の「強み」をカードに書いて貼らせ、学級全体で共有できるようにする。

- ・ 学年集会や掲示板上で紹介する。
- ・ 行事と関連させる。